

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Recurrent basal cell carcinoma. A review concerning the incidence, behavior, and management of recurrent basal cell carcinoma, with emphasis on the incompletely excised lesion	
	論文の日本語タイトル	BCC の再発。その頻度、様式、再発 BCC の管理について、特に不完全切除病変に関する検証	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ10-8	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (1)	
	Pubmed ID	7367506	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Plast Reconst Surg	
	雑誌 ID		
	巻	65	
	号	5	
	ページ	656-64	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1980	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Koplin L	Division of Plastic and reconstructive Surgery, at the USLA School of Medicine
その他著者 1		Zarem HA	
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	BCC の再発に関して、その頻度、様式、管理上の問題点について、特に不完全切除病変の扱いについて検討した
	データソース	不明
	研究の選択	不明
	データ抽出	最近の文献より
	主な結果	1) BCC の原発に関する部位と頻度：4 つの文献 3054 例から抽出した。顔面が 86%、頸部が 7%、体幹部が 7%を占めた。 2) 再発 BCC の部位と頻度：10 の文献 164 例から抽出した。顔面が 94%、頸部が 2.5%、体幹が 3%であった。 3) 原発 BCC のうち切除辺縁が陽性と診断される頻度：3 つの文献 1498 例中、平均 6.5%であった。 4) 辺縁陽性で次の再発が起きる頻度：2 つの文献から、12～35% 5) 腫瘍残存があった場合速やかに再切除を行うかどうか:3 文献で、いずれも再切除後の再発は認めなかった。 6) 再発に関する要因は：不完全切除のみが危険因子であり、性、年齢、部位、サイズ、組織型、放射線治療の有無は無関係。
	結論	組織学的に不完全切除である場合は、再度切除を追加すべきである。400×の視野でひとつの腫瘍細胞が含まれている場合は、12%の再発リスクがあり、高齢者であっても厳重なフォローアップを要する。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	神谷秀喜
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ I ） そのときまでに発表されている論文を基に、組織学的に腫瘍残存が疑われる場合は積極的な再切除を主張している。 厳密にはシステマティック・レビューではないが、詳細に検討されており、それに準ずるものと評価した。